



輝き

「夢 輝く自分」

令和4年7月15日

4月7日にスタートした1学期が終わります。感染症対策のため、参観日を分散で実施したり、5年生の海の学校、4年生の山の学校が日帰りでの活動になったりして、行事の変更を余儀なくされた1学期でした。しかし、子どもたちはさまざまな活動に全力で取り組み、たくさんの楽しい経験を重ねてたくましく成長しました。19日には通知表をもって帰ります。1学期の頑張りをしっかりほめてあげてください。

今年も地域の方が笹を届けてくださいました。今年の子どもたちの願い事は、「25メートル泳げるようになりますように」「漢字テストで100点がとれますように」など、昨年度に比べると小学生らしい願いが多かったように感じました。コロナ禍も3年目になり、感染症対策をとりながら生活することに慣れてきたということなのかもしれません。

これから子どもたちの楽しみにしている夏休みが始まります。With コロナで夏休みの過ごし方にも工夫が必要でしょうが、健康と安全に気を付けてご家族での楽しい思い出をつくっていただきたいと思います。

1学期の本校の教育活動に対し、温かいご理解とご協力を賜りましたことに、改めて心よりお礼申し上げます。



参観日・引き渡し訓練 6月29日



今年度2回目の参観日が6月29日にありました。今回も2グループに分かれて3密を避けながらの参観でした。どの学年も防災に関する学習の様子を見ていただき、その後、教室で地震が起こった時の避難訓練、保護者への引き渡し訓練を行いました。今年度の引き渡し訓練は初めて各教室で行う方法でやってみました。実際に災害が起こった時引き渡す場所を運動場、体育館、教室などどの場所にするかは災害の種類や状況によって異なると思いますが、これまで訓練できていなかった教室での引き渡しを経験できたことは大きいです。各教室前の廊下で並んで待っていただくことになりましたが、保護者の皆様のご協力のおかげで比較的短時間で引き渡しを行うことができました。近年大雨や地震などの災害のリスクが高まっていることが言われています。子どもたちも災害時の危険を考えたり行動の流れを確認したりすることができ、災害に備えることの大切さを実感したのではないかと思います。

ヨーミー興除さんによる読み聞かせが再開しました



コロナの影響で中断していたヨーミー興除さんによる絵本の読み聞かせが再開しました。ここ2年間で来ていませんでしたので3年ぶりの再開です。興除小の子どもたちのために地域の方々がボランティアで来てくださっています。読み聞かせが始まると子どもたちの目が絵本に引き付けられ、物語の世界に引き込まれていました。朝のほんの短い間ですが、心が豊かになる素敵な時間が流れました。興除小の子どもたちの心身のすこやかな成長を願って地域のたくさんの方が協力してくださるのがとてもうれしいです。ありがとうございます。

4年生 山の学校 7月8日

あいにくの雨でしたが、日帰りで山の学校に行ってきました。

昨年度は1学期の予定が2学期に延期になりましたが、今年度は予定通り1学期に行くことができました。

自然がいっぱいの山の中での貴重な体験ができました。協力しないとうまくいかない活動ばかりです。仲間と一緒に頑張ることの楽しさややり遂げた達成感を味わい、一層クラスの一体感を高めることができたのではないでしょう。



<採火活動>

みんなの応援をうけながら、火を起こします。摩擦熱で煙が出るまで木の棒を回すのが大変です。苦労してやっと起こした火。着いた瞬間には大きな拍手がわきました！



<ネイチャーワーク>

小雨が降る中、かっぱを着て山の中を歩きます。地図を見ながら指示通りに進みます。こっちの方向で合っているのかドキドキですが、ポイントを見つけると「よし！」

グループで協力して頑張りました。

着衣泳をしました



水の中で力を抜いて仰向けになると体が浮いて、呼吸をすることができます。上手に浮くことができていますね。

衣服を着けたままで水に入った時の感覚を体験し、いざというときの水の事故に備え、自分の命を守る行動がとれるようにするためにを行っています。



低学年も着衣泳に挑戦しました。ペットボトルのように浮力のある物を持って浮くのも、身を守る行動の一つです。

いつもの水泳学習と違って、服のまま入ると体を思うように動かすことができず大苦戦です。その後どうやったらうまく浮くことができるかを実際にやってみました。

今年度の水泳学習を事故なく終えることができてよかったです。各学年プールにお礼を言って締めくくっていました。

夏休みに端末を持ち帰ります <有意義に活用を>

文部科学省が推進しているGIGAスクール構想により、昨年度より学校の学習活動でのタブレット端末の活用が本格的に推進されています。令和の時代を生きる子どもたちにとって、情報活用能力を伸ばすことはとても重要なことです。ノートや鉛筆と同じように、タブレット端末を文房具の一つとして使いこなすことができるようになり、学習のさまざまな場面で活用されれば、子どもたちの学びの質の向上につながっていくと考えています。

興除小学校でも、夏休みの端末の持ち帰りに向けて各学年で端末を使った学習活動を進めてきました。すららドリルで計算練習をしたり、漢字の筆順の学習に使ったり、委員会活動で写真や動画を撮影してプレゼンを作ったりするなど、だいぶ慣れてきています。

夏休みには端末を家庭に持ち帰りますので、家庭での学習にしっかり活用してほしいと思います。各学年でどのような課題に取り組むかは別紙でお知らせをします。端末の使用については必ず各家庭でお子様と話し合っただけでルールを決め、それを守って使うようにご指導をお願いいたします。端末は大変便利なものですが、使い方のルールを守らないと人に迷惑をかけたり自分が困ったりすることにつながらないとも限りません。ぜひ有効に活用していただき、有意義な家庭学習となるように声かけや励まし、見守りをお願いいたします。



1年生も端末の操作を練習しました